

工事内容確認チェックシート(竣工)(耐震性(免震建築物以外))

私は、竣工現場検査の申請にあたり、以下の基準について適合していることを確認しました。

申請物件は、住宅品質確保法第3条第1項の規定に基づく評価方法基準の第5の1-1に定める耐震等級の等級 (※) に該当しています。

(※ フラット35S(金利Bプラン)「耐震性」は等級2又は3、フラット35S(金利Aプラン)「耐震性」は等級3の基準に適合する必要があります。)

基準の概要	確認項目	確認内容	現場確認欄	備考
			<input checked="" type="checkbox"/>	
(フラット35S(金利Aプラン)の場合)は等級3(構造躯体の倒壊等防止)の等級2又は3に適合していること	部材の品質	部材について、構造耐力上の欠点がないこと	<input type="checkbox"/>	
	土台・柱等	柱が所定の小径であること	<input type="checkbox"/>	
		土台の継手位置が構造耐力上支障ない位置に設けられていること	<input type="checkbox"/>	
		アンカーボルトは所定の品質であり、所定の埋込み長さが確保されており、所定の位置に設置されていること	<input type="checkbox"/>	
	耐力壁(筋かいの場合)	筋かい耐力壁が所定の位置、長さ、種類、断面、方向であること	<input type="checkbox"/>	
	耐力壁(面材の場合)	面材耐力壁が所定の位置、長さ、種類、厚さであること	<input type="checkbox"/>	
		釘が所定の種類、留付け間隔であること	<input type="checkbox"/>	
	準耐力壁等	準耐力壁が所定の位置、長さ、厚さ、高さであること	<input type="checkbox"/>	
		垂れ壁、腰壁が所定の位置、長さ、幅であり、両脇に耐力壁又は準耐力壁があること	<input type="checkbox"/>	
		釘が所定の種類、留付け間隔であること	<input type="checkbox"/>	
	火打ち材	火打ち材が所定の位置、種類、寸法、留付け状態であること	<input type="checkbox"/>	
		火打ち材と取り合う梁は所定のはりせい寸法であること	<input type="checkbox"/>	
	床組等	面材が所定の種類、厚さであること	<input type="checkbox"/>	
		根太が所定の寸法、間隔、取付工法であること	<input type="checkbox"/>	
		釘が所定の種類、留付け間隔であること	<input type="checkbox"/>	
	屋根面	所定の勾配であること	<input type="checkbox"/>	
		面材が所定の種類、厚さであること	<input type="checkbox"/>	
	接合部	釘が所定の種類、留付け間隔であること	<input type="checkbox"/>	
		接合金物は所定の品質であること	<input type="checkbox"/>	
		筋かい端部の接合部が所定の接合方法により施工されていること	<input type="checkbox"/>	
		柱脚・柱頭の接合部が所定の接合方法により施工されていること	<input type="checkbox"/>	
	横架材	床、屋根の接合部が所定の接合金物により施工されていること	<input type="checkbox"/>	
		胴差と通し柱の接合部が所定の接合方法により施工されていること	<input type="checkbox"/>	
床梁・小屋梁が所定の断面、間隔であること		<input type="checkbox"/>		
基礎	胴差・根太・たる木が所定の断面、間隔であること	<input type="checkbox"/>		
	基礎が所定の配置であること	<input type="checkbox"/>		
	所定の寸法の根入れ深さであること	<input type="checkbox"/>		
	立上がり部分の高さ、厚さ、底盤が所定の寸法であること	<input type="checkbox"/>		
		主筋・補強筋が所定の径、位置であること	<input type="checkbox"/>	
		開口部周辺等の補強が所定の方法であること	<input type="checkbox"/>	

注1) 申請者、工事監理者又は工事施工者は、太枠で囲われたところをチェック又は記入してください。

注2) 「所定の」とあるのは、設計図書等に記載されている事項を意味しています。